

プログラム 第2会場（4F・401 会議室）

※一般演題の1と2に一部修正が発生いたしました(9月1日現在)。

一般演題1 医療安全管理活動① 8:40～9:22

座長：長島 久（富山大学医学部附属病院 副院長 医療安全管理室）

O1-1

大学病院におけるRRSシステムとドクターコールシステムの関係性

本澤 大志（横浜市立大学附属病院）

O1-2

C型肝炎ウイルス陽性患者の拾い上げに向けたアラートシステム導入の有用性

北詰 晶子（東京都立多摩総合医療センター 消化器内科）

O1-3

救急医も集中治療医もないがんセンターでのRRSの取り組み

佐藤 壘（静岡県立静岡がんセンターIVR科）

O1-4

「医療安全対策加算」の算定要件となる「適切な研修」の認定を得るための実務について

渡邊 両治（埼玉石心会病院）

O1-5

薬剤関連インシデント数と病院薬剤師不足について

石井 健（虎の門病院 集中治療科、品質管理室）

O1-6

産科危機的出血勉強会について

田中 麻衣（東京都立多摩総合医療センター 産婦人科 助産師）

O1-7

当院放射線部における災害時避難訓練への取り組み

川田 順一（横浜市立大学附属病院）

一般演題 2 医療安全管理活動② 9:22～10:10

座長: 鈴木 明 (浜松医科大学 医療安全管理室)

O2-1

気管カニューレ管理の適正化へ向けたクリティカルケア認定看護師の取り組み

成田 裕介 (東京都立多摩総合医療センター 看護部看護科 救命救急センター)

O2-2

救急科による“安全な HCU 管理”への取り組み

松村 一希 (慶應義塾大学医学部 救急医学)

O2-3

気管カニューレ事故抜去に備える

藤塚 健次 (前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科)

O2-4

医療集積地域における小電力医用テレメーターの重複運用方法

小俣 友輝 (東京都立多摩総合医療センター 臨床工学科)

O2-5

当院における Rapid Response System の検討

宮川 亮 (産業医科大学病院 救急・集中治療科)

O2-6

稀な疾患に対する治療薬の供給体制の考察 ～メトヘモグロビン血症の一例を通じて

金田 晴貴 (兵庫県災害医療センター 救急部)

O2-7

Critical care outreach team による、Rapid response system 起動の回避について

櫻井 千浪 (聖マリアンナ医科大学 救急医学教室)

一般演題 3 品質管理・改善活動 10:10～11:04

座長: 石川 栄二 (横浜市立大学附属病院放射線部)

O3-1

院内急変に対するリスクマネジメント活動報告 ～コードブルー事例デブリーフィングの効果～

星 英輝 (東京都立多摩総合医療センター 看護部)

O3-2

安全にシングルチェックを導入するための取組み

岡田 みちよ (川崎市立多摩病院 医療安全管理室)

O3-3

転倒とポリファーマシー: データウェアハウスの活用による洞察

五十嵐 崇浩 (日本大学医学部附属板橋病院 医療安全管理室)

O3-4

熱中症診療ガイドライン 2024 改訂の狙い

神田 潤 (帝京大学医学部救急医学講座)

O3-5

当院集中治療科での「令和4年度・令和6年度診療報酬改定」への対応

石井 健 (虎の門病院 集中治療科、品質管理室)

O3-6

認知症高齢者の自宅における誤食の危機管理の必要性

早野 大輔 (関東労災病院 救急集中治療科)

O3-7

「ロシアンルーレット」からの“安全思考”考

奥津 康祐 (山梨 OQT、国際医療福祉大学)

O3-8

プロウペス投与におけるマニュアルの検討

秋元 優香 (東京都立多摩総合医療センター 産婦人科 助産師)

O3-9

適切な先進医療の実施に向けたリスクマネジメント対策 -「先進管理 CRC」の取り組み-

川邊 麻里子

(国立国際医療研究センター病院 臨床研究支援部門/臨床研究センター 臨床研究推進部)

一般演題 4 チーム医療 11:04~11:52

座長: 奥津 康祐

(国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 医療マネジメント学科)

O4-1

クリティカルケア認定看護師による院内急変の予防への取り組み

橋本 雄大 (東京都立多摩総合医療センター)

O4-2

安全・迅速な ECPR 導入をチーム医療で実践する

谷口 隼人 (横浜市立大学付属市民総合医療センター 高度救命救急センター)

O4-3

当院救急プライマリケアセンターの取り組みとチーム医療

近藤 豊 (順天堂大学医学部附属 順天堂医院)

O4-4

2 院で共同運行するドクターカー事業における安全意識に関する調査

米田 龍平 (東京都立小児総合医療センター)

O4-5

迅速な外科的介入を必要とする RRS・STAT call 事例における高度救命救急センター看護師の
関わりの有効性

今 大和 (埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター・看護部)

O4-6

沖縄県における重症患者搬送体制の構築

星野 耕大 (沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)

O4-7

当院における看護師主体の迅速対応システム導入に向けての取り組みと課題

山本 裕之（日本医科大学多摩永山病院 医療安全管理部）

O4-8

多職種カンファレンスを行い機械的補助循環装置の離脱を行った症例

和田 健志郎（JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 救急科）

一般演題 5 地域医療と安全性 13:15～14:03

座長: 吉池 昭一（相澤病院 救命救急センター）

O5-1

産科危機的出血に対し現場輸血を可能にする病院体制の整備

乃美 証（日本赤十字社医療センター 救命救急センター・救急科）

O5-2

東大和病院の病院救急車運用におけるリスクマネジメント

長瀬 拓也（東大和病院 救急業務支援室）

O5-3

入院レセプト情報を用いた区南部東京ルール高齢入院患者の分析

森川 健太郎（旗の台病院 病院長）

O5-4

地方都市の救命救急センターにおける輸血量の限界を認知し、新たな対策を講じるきっかけとなった重症外傷の一例

麻喜 幹博（藤枝市立総合病院救命救急センター）

O5-5

ドクターヘリの現場活動におけるリスクマネジメント

海野 智也（埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター）

O5-6

病院移転に伴う患者移送の経験

速水 宏樹（埼玉県済生会加須病院 救命救急センター）

O5-7

東京大学医学部附属病院における臓器移植手術と麻酔科の現状

小林 健（東京大学医学部附属病院 麻酔科・痛みセンター）

O5-8

ECMOに関するリスクマネジメント –看護師の視点から

功刀 慎一（東京都立多摩総合医療センター 看護部）

一般演題 6 医療安全教育 14:03～14:45

座長：中西 吉人（日本大学病院 看護部）

O6-1

6R 確認行動定着に向けた取り組み

國分 愛（東京都立神経病院 看護部）

O6-2

発見まで時間を要した左内頸静脈アプローチの中心静脈カテーテル先端が縦隔内に
迷入した一例

原 嘉孝（藤田医科大学医学部 麻酔・侵襲制御医学講座）

O6-3

中央検査室全職員を対象とした急変時対応力向上の取り組み

滝本 未波（日本医科大学 多摩永山病院）

O6-4

救急救命士参画の効果と今後の展開 A病院の Rapid Response System における分析

松岡 遼平（東京都立多摩総合医療センター 看護部）

O6-5

神経集中治療室における早期離床プロトコルの検証

太田 正史（TMG あさか医療センター リハビリテーション部）

O6-6

院内救急救命士が取り組む医療機関におけるリスクマネジメント

安達 颯太（日本赤十字社 さいたま赤十字病院）

O6-7

GAIA を用いたアラーム監視体制の構築について

成田 卓磨（東京都立多摩総合医療センター 臨床工学科）

一般演題 7 インシデント・アクシデントレポート 15:55～16:49

座長：松月 みどり（湘南医療大学 保健医療学部 看護学科）

O7-1

当科における胸腔ドレナージ関連インシデント・アクシデントの検討

丹保 亜希仁（旭川医科大学 救急医学講座）

O7-2

国立国際医療研究センターで実施中の臨床研究における有害事象及び不適合の傾向

渡部 克枝

（国立国際医療研究センター 臨床研究センター 臨床研究統括部／医療安全管理室）

O7-3

当院における心肺停止急変コール事例の振り返りと課題の考察

青景 聡之（東京都健康長寿医療センター 救急科）

O7-4

ECMO 患者搬送における救急救命士の役割とインシデント分析

香月 綾乃（日本医科大学付属病院 高度救命救急センター）

O7-5

リードスペースメーカー挿入患者の MRI 撮影に関するインシデント事例

岡野 佐織（藤枝市立総合病院）

O7-6

救命救急センターにおける指示簿確認方法の変更による効果の検討

石川 直樹（埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター・看護部）

O7-7

国立国際医療研究センター治験管理室で発生したインシデント・アクシデントの傾向についての
分析と再発防止に向けての考察

秋山 恭子（国立国際医療研究センター 臨床研究センター 臨床研究推進部 治験管理室）

O7-8

気管切開に関連するアクシデントの再発防止に向けた取り組み

大村 拓（千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学）

O7-9

ヒヤリハット事例の報告数増加を目指した取り組みと成果

田久保 愛（かわぐち心臓呼吸器病院 医療安全管理室）

一般演題 8 治療・診療における危機管理 16:49～17:37

座長：中川 富美子（日本大学医学部附属板橋病院 医療安全管理室/臨床工学技士室）

O8-1

医原性肋間動脈損傷に対する Salvage 治療としての IVR

池田 督司（山梨県立中央病院 高度救命救急センター）

O8-2

当院の救急外来における DNAR 指示と意思決定に関する問題点の検討

杉本 龍（相澤病院 救命救急センター）

O8-3

急性期パッチ式脳波測定プロトコール使用により効率的に NCSE を管理できた一例

仲田 光（日本赤十字社 さいたま赤十字病院 高度救命救急センター 救急医学科）

O8-4

働き方改革に伴う当院における ECPR 手技の変更

錦見 満暁（広島大学大学院 医系科学研究科 救急集中治療医学）

O8-5

患者安全に資するカード型呼吸数測定デバイスの臨床評価

岩下 義明（島根大学 医学部救急医学講座）

O8-6

ECMO 開始初期の PaCO₂ 変化率と意識障害の相関

大下 慎一郎（広島大学大学院 救急集中治療医学）

O8-7

当院における院内 CPA 症例の検討

藤原 麻友美（八尾徳洲会総合病院・看護部）

O8-8

ER 型救命救急センターにおける画像読影報告書の確認・対応体制

宮城 隆志（横浜労災病院 救命救急センター 救急科）